

参加  
募集

日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会

# シンポジウム「九州のテクトニクス」

一般公開、事前登録制 主催：一般社団法人日本活断層学会  
シンポジウム参加料無料 後援：福岡市  
定員 200 名様

日時 2023 年 11 月 11 日 (土)  
13:20 ~ 16:30 (12:20 会場オープン)

会場 九州大学西新プラザ (福岡市早良区西新 2-16-23)

シンポジウム参加申込はこちら

<https://forms.gle/BKh8s19Am62vd9pC9>

定員に達した場合は受付を締め切らせて頂きます。



申込フォーム  
QR コード

## プログラム

松本 聡 (九州大学)	九州の地震発生場
堤 浩之 (同志社大学)	活断層データから見た九州のテクトニクス
西村 卓也 (京都大学)	測地観測に基づく九州の地殻変動と活断層分布
大橋 聖和 (山口大学)	九州中部の第四紀テクトニクスと布田川断層
西島 潤 (九州大学)	重力異常から見た北部九州の活断層

※演題は変更となる場合があります。

九州には、地震調査研究推進本部による「活断層の地域評価」の対象となっている 28 の断層帯があり、その一部の活動によって 2005 年福岡県西方沖地震、2016 年熊本地震などの被害地震が近年発生しています。また、阿蘇、九重、雲仙、桜島などの活火山も多く、2011 年には霧島の新燃岳で大規模な噴火が発生しました。その背景となる広域応力場として、引張成分が卓越する領域が広く分布していることから、九州は日本列島の中で特異な地域とされています。将来発生するジオ・ハザードに備える上でも、その地域のテクトニクスをよりよく知ることは重要です。本シンポジウムでは、地質構造、地殻変動、地震活動、火山活動など、地球科学の様々な観点から九州のテクトニクスについて考えたいと思います。

本シンポジウムは、11 月 10 日 (金) ~ 12 日 (日) に行われる「日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会」の一環で開催されます。

大会詳細 (申込方法、参加費など) はこちら : <https://jsaf.info/html/meeting/2023fall.html>

## 日本活断層学会 2023 年度秋季学術大会のご案内

11 月 10 日 (金) 13:00 ~ 一般研究発表, 意見交換会

11 月 11 日 (土) 09:00 ~ 一般研究発表, 13:20 ~ シンポジウム

11 月 12 日 (日) 08:30 ~ 15:30 巡検 : 福岡県の活断層を巡ります。

会場 : 九州大学西新プラザ

一般研究発表・意見交換会・巡検へのご参加は、事前申込制、参加費を頂きます。